

杵島地区新高校再編整備実施計画

平成 29 年 3 月 27 日

佐賀県教育委員会

目次

	頁
検討の趣旨	1
「杵島地区新高校設置準備委員会」での検討経過 . .	1
計画の内容	2
1 校名	2
2 めざす学校像	2
3 学級編制及び学科の特色	4
(1) 学級編制	
(2) 学科の特色	
4 教育課程	8
5 特色ある教育活動	12
6 校時	14
7 校舎制	17
(1) 校舎間移動	
(2) 部活動	
(3) 学校行事	

資料1 新高校設置準備委員会設置要領

資料2 杵島地区新高校設置に向けた検討体制

資料3 杵島地区新高校設置準備委員会委員構成

検討の趣旨

佐賀県教育委員会は、平成 26 年 12 月に「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）」を策定し、白石高等学校及び杵島商業高等学校の再編を決定した。

計画では、平成 30 年度に白石高等学校（1 学年 160 人（4 学級規模））及び杵島商業高等学校（1 学年 120 人（3 学級規模））を再編して、1 学年 200 人（5 学級規模）の新高校とし、学科については現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討することとした。

これを踏まえ、杵島地区新高校の具体的な在り方等を検討するために、平成 27 年 4 月に白石高等学校、杵島商業高等学校、両高等学校の同窓会・PTA、地元中学校、関係市町の関係者及び教育長、並びに佐賀県教育委員会からなる「杵島地区新高校設置準備委員会」を立ち上げ、魅力ある新高校づくりを目指した検討を行ってきた。

ここに、杵島地区新高校設置準備委員会として、これまでの検討結果の概要を取りまとめるものである。

「杵島地区新高校設置準備委員会」での検討経過

平成 27 年度から平成 28 年度にかけて「杵島地区新高校設置準備委員会」を 9 回開催し、新高校設置に向けた検討を行ってきた。また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供に努めた。

これまでの設置準備委員会開催日及び主な検討事項は、次のとおりである。

回	時期	主な検討項目
第 1 回	平成 27 年 5 月 26 日（火）	・委員委嘱 ・新実施計画の概要 ・県立高校再編整備計画（杵島地区） ・新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール ・めざす学校像（現状を踏まえた意見交換） など
第 2 回	平成 27 年 7 月 27 日（月）	・めざす学校像 ・新高校の学科構成
第 3 回	平成 27 年 10 月 23 日（金）	・めざす学校像 ・新高校の学科構成 ・校舎制
第 4 回	平成 28 年 1 月 12 日（火）	・新高校の学科構成 ・新学科での取組（教育内容） ・校舎制
第 5 回	平成 28 年 3 月 29 日（火）	・教育内容 ・校舎制 ・今後の検討スケジュール
第 6 回	平成 28 年 5 月 18 日（水）	・今後の検討スケジュール ・校内検討体制 ・新高校名の検討方法 ・新校章、新校歌、新制服の検討方法
第 7 回	平成 28 年 7 月 27 日（水）	・新高校の校内検討委員会の検討状況（教育目標、校務分掌、 各種委員会、部活動、教育課程、学校行事、その他） ・校名募集状況（校名検討委員会概要）
第 8 回	平成 28 年 8 月 29 日（月）	・新高校の校内検討委員会の検討状況（教育目標、校務分掌） ・教職員配置（分校制）
第 9 回	平成 28 年 10 月 26 日（水）	・新高校校名候補 ・分校制 ・杵島地区新高校再編整備実施計画（原案）

計画の内容

1 校名

佐賀県立白石高等学校 (さがけんりつ しろいし こうとうがっこう)

以下、再編前の白石高等学校と区別するため(新)白石高等学校と記載

開校時期：平成 30 年 4 月

課 程：全日制課程

設置場所及び学科

校舎名	普通科キャンパス (再編前の白石高等学校校舎 校地)	商業科キャンパス (再編前の杵島商業高等学校校舎 校地)
設置場所	〒849-1101 佐賀県杵島郡白石町大字今泉 138-1	〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町 2039
学科 (大学科)	普通科	商業科

(現在の白石高等学校、杵島商業高等学校の両校舎(校地)を利用する「校舎制」をとる。)

2 めざす学校像

- ① 夢を育み、夢の実現に邁進する学校
- ② 知・徳・体の調和のとれた、健全な人格の形成をめざす学校
- ③ 地域に愛され、信頼される学校
- ④ グローバル化に対応できる力を養成する学校

【(新)白石高等学校コンセプト(グランドデザイン)】

(新)白石高等学校 グランドデザイン

生徒の夢を育み、夢実現に向けて
知・徳・体の調和のとれた人材を育成する学校

普通科キャンパス

普通科 3クラス
(特進/総合進学コース)

商業科キャンパス

商業科 1クラス
(会計/マーケティングコース)
情報ビジネス科 1クラス
(プログラミング・マルチメディアコース)

未来を創る
高度な普通教育

進路に応じた
コース制

少人数学習指導
(習熟度別
TT授業など)

グローバル人材の
育成

品格ある
豊かな人間性

部活動の推進

国際交流

地域ボランティア

体系的
キャリア教育

実りある
ビジネス教育

現場で磨く実践力

吉しま学美舎

資格取得の推進

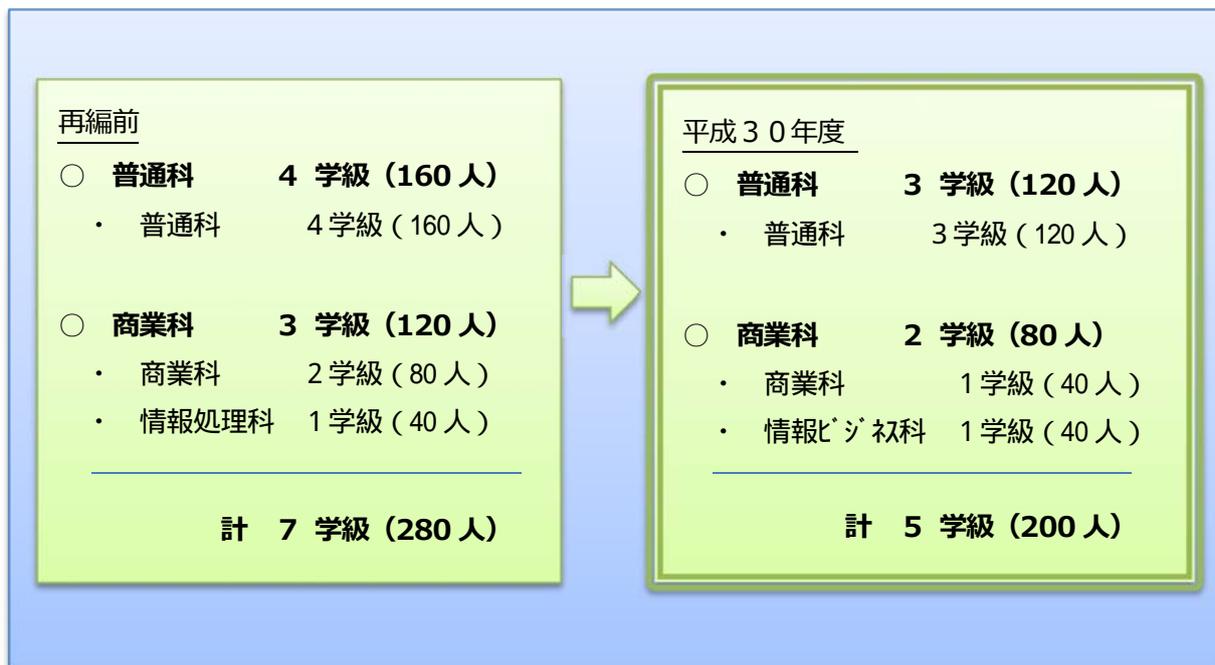
社会人講師招聘

社会人マナー指導

夢実現の3本柱

3 学級編制及び学科の特色

(1) 学級編制



【年次進行】

	(新)白石高等学校		白石高等学校		杵島商業高等学校		
		普通科 キャンパス	商業科 キャンパス				
H30 年度	1年	普通科	商業科 情報ビジネス科	2年	普通科	2年	商業科 情報処理科
				3年	普通科	3年	商業科 情報処理科
H31 年度	1年	普通科	商業科 情報ビジネス科	3年	普通科	3年	商業科 情報処理科
	2年	普通科	商業科 情報ビジネス科				
H32 年度	1年	普通科	商業科 情報ビジネス科	再編前の白石高等学校及び再編前の杵島商業高等学校に入学した者は、それぞれの高等学校を卒業することとなる。 なお、両高等学校については、平成31年度末に閉校する。			
	2年	普通科	商業科 情報ビジネス科				
	3年	普通科	商業科 情報ビジネス科				

(2) 学科の特色

普通科

学科の目標

- ・ 今後さらに様々な変化を伴う社会に対応できる幅広い知識と教養を身に付けさせる。
- ・ キャリア教育を充実させ、将来にわたる明確な進路意識の涵養に努める。
- ・ 生徒一人一人の多様な進路希望に柔軟に対応し、特に4年制大学等への進学を希望する生徒の進路保障を担う。

コース選択（3年間の流れ）



特進コースと総合進学コース

特進コース

4年制大学（国公立大学や難関私立大学など）への進学を希望する生徒に対応する。

総合進学コース

4年制大学のほか、看護・医療系の専門学校への希望者や公務員希望者など多様な進路希望に対応する。

コースと進路との関連

特進コース（文系）…国公立大学（文系の学部全般）

- ・ 主に国公立大学の文系学部への進学を目指す。

総合進学コース（文系）…私立大学、短期大学、専門学校（文系）

- ・ 私立大学、短期大学を目指す生徒のほか、専門学校や公務員等、多様な進路を希望する生徒が含まれる。3年次の選択科目では、進路に合わせて「総合数学」「英語の理解（仮称）」「芸術表現」「発達と保育」「商業系科目（仮称）」を選択することが可能である。

例）3年次選択科目（2単位）と進学先

数学	私立大学（社会科学系学部（法学部や経済学部など））
英語	私立大学（人文科学系学部（文学部、外国語学部など））
芸術表現	私立大学（芸術系学部・教育学部）・短期大学（教育学部）
子どもの発達と保育	短期大学（保育系）
商業系科目	ビジネス系専門学校

特進コース（理系）…国公立大学、私立大学（理学部・工学部）

- ・ 国公立大学や私立大学の理学部や工学部など数学が必要な学部・学科への進学を目指す。

総合進学コース（理系）…国公立大学、私立大学（農学部・看護系）

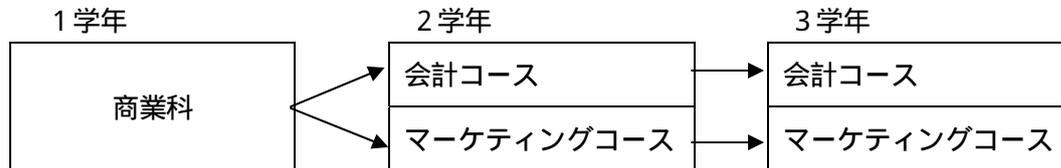
- ・ 国公立大学や私立大学の農学部や医学部看護科のほか、医療系の専門学校などへの進学を希望する生徒に対応する。数学 ・ Bまで選択するコースである。

商業科

学科の目標

ビジネス実践力を身に付ける。

コース選択（3年間の流れ）



1年次は「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」を履修し、商業の基礎基本を学ぶ。

2年次から「会計コース」「マーケティングコース」のコース制とする。

教育内容等

会計コース

会計分野の高い知識を身に付け、将来事務職を目指す生徒や企業の経理を担う職を目指す生徒を育成する。2年次に「簿記」「財務会計」「原価計算」、3年次に「財務会計」「経済活動と法」を履修する。企業間の取引や財貨の流れ、財務諸表などを学習し、会計分野の高度な知識を武器にした就職・進学を目指す。

マーケティングコース

ビジネスマナーを身に付け、営業職や販売職を目指す生徒を育成する。基本的なパソコンスキルを身に付けるため、ビジネス文書や表計算ソフトの学習も行う。2年次に「マーケティング」「ビジネス実務」、3年次に「広告と販売促進」を履修し、消費者の購買行動や小売業の販売の仕組みなどを学ぶ。また、海外からの来県者に対応するために第二外国語（韓国語）の学習も行い、簡単な応対ができる程度の会話力を身に付ける。商品開発やEビジネスなどのマーケティング活動を通して実践的な学習を行い、就職・進学に活かす。

コース共通

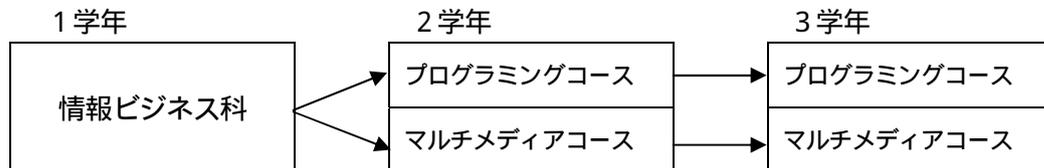
- ・3年次に「課題研究」を履修。『現場で磨くビジネス実践力』をテーマに掲げ、主に地域での校外実習など体験的な学習を多く取り入れることで、学習内容の充実を図る。
- ・3年次に「総合実践」と「国語表現」を希望に応じて選択履修する。
- ・3年次に「ビジネス経済応用」を履修し、経済事情にも精通した、ビジネスに強い生徒を育成する。

情報ビジネス科

学科の目標

ICT社会をリードする人材を育成する。

コース選択（3年間の流れ）



1年次は、情報処理関連科目の基礎科目「情報処理」を中心に学び、商業の基礎科目である「ビジネス基礎」「簿記」を履修する。

2年次から「プログラミングコース」「マルチメディアコース」のコース制とする。

教育内容等

プログラミングコース

プログラムやネットワーク情報の高い知識を身に付け、将来システムエンジニアやプログラマーなどを目指す生徒を育成する。「プログラミング」や「ビジネス情報」を履修し、Java やホームページ言語である HTMLなどを学び、システムの構築やアプリ開発などを行う。専門学校などと連携し、より専門的なプログラミング能力を習得する。3年次に「ビジネス情報管理」を履修し、ネットワーク技術・情報セキュリティの知識を学ぶ。

マルチメディアコース

プレゼンテーション能力、クリエイティブ能力を育成し、情報機器を活用して情報を表現することを身に付け、将来ウェブデザイナーやコンピュータグラフィック関係の職業を目指す生徒を育成する。「ビジネス情報」「電子商取引」「デザイン表現」を履修し、コンテンツ作成や画像編集などを行い、広告デザインや販売促進方法など、情報機器を活用したビジネスに関する表現を学ぶ。また、会社でHPを作成し、広く外に向けて発信し、管理できる人材を育てる。

コース共通

- ・3年次に「課題研究」を履修する。『現場で磨くビジネス実践力』をテーマに掲げ、主に地域での校外実習など体験的な学習を多く取り入れることで、学習内容の充実を図る。
- ・3年次に「総合実践」と「国語表現」を希望に応じて選択履修する。
- ・3年次に「ビジネス経済応用」を履修し、経済事情にも精通した、ビジネスに強い生徒を育成する。

普通科(全日制) 平成30年度入学生 教育課程表(案)

教科・科目	標準単位数	入学年度 学年 コース	平成30年度入学生					履修単位の計
			1年	2年		3年		
				文系	理系	文系	理系	
国語	国語総合	4	6					6
	現代文B	4		3	2	3	3	5,6
地理史	古典B	4		3	3	3	3	6
	世界史A	2						0,2
	世界史B	4						0,6,8
	日本史A	2						0,2
	日本史B	4						0,6,8
	地理A	2						0,2
	地理B	4						0,6,8
公民	現代社会	2	2					2
	政治経済	2				3		0,3
数学	数学	3	3					3
	数学	4	1	3	4			4,5
	数学	5						0,5
	数学A	2	2					2
	数学B	2		2	2			2
	総合数学	4~5				4		0,4,5
理科	総合数学	2~3				(2)	3	0,2,3
	科学と人間生活	2	2					2
	物理基礎	2						0,2
	物理	4						0,6
	化学基礎	2		2	2	2		2,4
	化学	4			2		4	0,6
保健体育	生物基礎	2		2		2		0,2,4
	生物	4						0,6
芸術	体育	7~8	3	2	2	3	3	8
	保健	2	1	1	1			2
	音楽	2						0,2
	音楽	2						0,2
	音楽表現	2						0,2
	美術	2						0,2
	美術表現	2				(2)		0,2
	書道	2						0,2
外国語	書道	2						0,2
	書道表現	2						0,2
	コミュニケーション英語	3	4					4
	コミュニケーション英語	4		5	5			5
	コミュニケーション英語	4				5	6	5,6
	英語表現	2	3					3
家庭情報	英語表現	4		2		2		0,4
	英語の理解	2				(2)		0,2
各学科に共通する各教科・科目	家庭基礎	2	2					2
	社会と情報	2	2					2
各学科に共通する各教科・科目 小計			33	33	33	31,33	33	97,99
商業	情報処理	2~4				(2)		0,2
	家庭	子どもの発達と保育	2~6			(2)		0,2
校外学習活動	知識及び技能審査	2~7						
主として専門学科において開設される各教科・科目 小計						0,2		0,2
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1	3
履修単位の計			34	34	34	34	34	102
活特別	ホームルーム活動(週当たりの時間数)		1	1	1	1	1	
	生徒会活動		別途計画					
学		校行事	別途計画					
備考	<p>単位数の総計は35単位となる。2年次の地理科目は、世界史Aと日本史B、世界史Aと地理B、日本史Aと世界史B、地理Aと世界史Bの組合せで選択。B科目は、2・3年次の継続履修となる。2年次文系の芸術は芸術との同一科目を履修する。3年理系の数学は、2年次の数・数選択者が数学4単位・総合数学3単位を、数・総合数学選択者が総合数学4単位・総合数学3単位を選択する。3年次理系の物理・生物は2年次からの継続履修となる。(2)は3年文系の選択でこの中から1科目を選択履修。「音楽表現」「美術表現」「書道表現」の学校設定科目では、1・2年次の選択科目と異なる科目の選択が可能である。</p> <p>(一定の期間に集中的に実施する科目)</p> <p>1年次 数学 (3単位)4月~9月,数学A(2単位)10月~12月,数学 (1単位)1月~3月</p> <p>2年(文) 数学 (3単位)4月~10月,数学B(2単位)11月~3月</p> <p>2年(理) 数学 (4単位)4月~10月,数学B(2単位)11月~1月前半</p> <p>数学 選択(1単位)1月後半~3月(総合数学 選択(1単位)と同時展開)</p> <p>物理基礎(2単位)4月~9月,物理(2単位)10月~3月,化学基礎(2単位)4月~9月,化学(2単位)10月~3月,生物基礎(2単位)4月~9月,生物(2単位)10月~3月</p> <p>3年(理) 数学 (4単位)4月~10月前半,総合数学 (3単位)10月後半~2月</p> <p>総合数学 (4単位)4月~10月前半,総合数学 (3単位)10月後半~2月</p>							

商業科[商業科]（全日制） 平成 30 年度入学生 教育課程表（案）

教科	入学年度 学科 学年 科目	標準 単位 数	平成 30 年度 入 学（第 1 学 年）						
			商 業 科(1クラス)						
			1年 共通	会計コース			マーケティングコース		
				2年	3年	単位 合計	2年	3年	単位 合計
国 語	国 語 総 合	4	3	3		6	3		6
	国 語 表 現	3			②	0,2		②	0,2
	現 代 文 A	2			3	3		3	3
地理歴史	世 界 史 A	2			2	2		2	2
	地 理 A	2		2		2	2		2
公 民	現 代 社 会	2	2			2			2
数 学	数 学 I	3	3			3			3
	数 学 II	4		3		3	3		3
	数 学 A	2			2	2		2	2
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2		2		2	2		2
	生 物 基 礎	2			2	2		2	2
保健体育	体 育	7~8	2	2	3	7	2	3	7
	保 健	2	1	1		2	1		2
芸 術	美 術 I	2	2			2			2
外 国 語	コミュニケーション英語 I	3	3			3			3
	コミュニケーション英語 II	4		3	3	6	3	3	6
	韓 国 語	2						2	2
家 庭	家 庭 総 合	4		2	2	4	2	2	4
情 報	社 会 と 情 報	2							
各学科に共通する教科 小計			16	18	17,19	51,53	18	19,21	53,55
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2~4	4			4			4
	課 題 研 究	2~6			3	3		3	3
	総 合 実 践	2~6			②	0,2		②	0,2
	ビ ジ ネ ス 実 務	2~4					2		2
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2~4					3		3
	商 品 開 発	2~4							
	広 告 と 販 売 促 進	2~4						3	3
	ビ ジ ネ ス 経 済	2~4							
	ビ ジ ネ ス 経 済 応 用	2~4			2	2		2	2
	経 済 活 動 と 法	2~4			2	2			
	簿 記	2~5	5	2		7	3		8
	財 務 会 計 I	2~4		3	3	6			
	財 務 会 計 II	2~4							
	原 価 計 算	2~4		3		3			
	管 理 会 計	2~4							
	情 報 処 理	2~4	4			4			4
	ビ ジ ネ ス 情 報	2~4		3		3	3		3
電 子 商 取 引	2~4								
プ ロ グ ラ ミ ン グ	2~4								
ビ ジ ネ ス 情 報 管 理	2~5								
美 術	デ ザ イン 表 現	2~6							
主として専門学科において開設される教科小計			13	11	10,12	34,36	11	8,10	32,34
総合的な学習の時間									
履修単位の合計			29	29	29	87	29	29	87
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動 (週 あ た り の 時 間 数)		1	1	1	3	1	1	3
	生 徒 会 活 動	別途計画							
	学 校 行 事								
備 考	・「社会と情報」は「情報処理」で2単位を代替 ・「総合的な学習の時間」は、「課題研究」で3単位を代替 ・2年次会計コースは、「簿記」を4~7月まで5単位、「財務会計 I」を8~3月まで5単位実施								

商業科[情報ビジネス科] (全日制) 平成30年度入学生 教育課程表(案)

教科	科目	入学年度 学科 学年 標準 単位数	平成30年度入学(第1学年)						
			情報処理科(1クラス)						
			1年 共通	プログラミングコース			マルチメディアコース		
				2年	3年	単位 合計	2年	3年	単位 合計
国語	国語総合	4	3	3		6	3		6
	国語表現	3			②	0,2		②	0,2
	現代文A	2			3	3		3	3
地理歴史	世界史A	2			2	2		2	2
	地理A	2		2		2	2		2
公民	現代社会	2	2			2			2
数学	数学I	3	3			3			3
	数学II	4		3		3	3		3
	数学A	2			2	2		2	2
理科	科学と人間生活	2		2		2	2		2
	生物基礎	2			2	2		2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	7	2	3	7
	保健	2	1	1		2	1		2
芸術	美術I	2	2			2			2
外国語	コミュニケーション英語I	3	3			3			3
	コミュニケーション英語II	4		3	3	6	3	3	6
家庭	家庭総合	4		2	2	4	2	2	4
情報	社会と情報	2							
各学科に共通する教科小計			16	18	17,19	51,53	18	17,19	51,53
商業	ビジネス基礎	2~4	3			3			3
	課題研究	2~6			3	3		3	3
	総合実践	2~6			②	0,2		②	0,2
	ビジネス実務	2~4							
	マーケティング	2~4					2		2
	商品開発	2~4							
	広告と販売促進	2~4							
	ビジネス経済	2~4							
	ビジネス経済応用	2~4			2	2		2	2
	経済活動と法	2~4							
	簿記	2~5	4	3		7	3		7
	財務会計I	2~4							
	財務会計II	2~4							
	原価計算	2~4							
	管理会計	2~4							
	情報処理	2~4	6			6			6
	ビジネス情報	2~4		3		3	3		3
電子商取引	2~4					3		3	
プログラミング	2~4		5	3	8				
ビジネス情報管理	2~5			2	2		2	2	
美術	デザイン表現	2~6						3	3
主として専門学科において開設される教科小計			13	11	10,12	34,36	11	10,12	34,36
総合的な学習の時間									
履修単位の合計			29	29	29	87	29	29	87
特別活動	ホームルーム活動 (週あたりの時間数)		1	1	1	3	1	1	3
	生徒会活動	別途計画							
	学校行事	別途計画							
備考			・「社会と情報」は「情報処理」で2単位を代替 ・「総合的な学習の時間」は、「課題研究」で3単位を代替						

5 特色ある教育活動

普通科・商業科共通

キャリア教育

新高校では、これからの社会で生き抜くために、自己の在り方生き方を考え、多様な情報を適切に選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリア形成していく力を育成する。

普通科... 3年間を見通して『総合的な学習の時間』の教育内容を整理し、多様な学び方やものの考え方を身に付けさせ、課題解決に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を養うことで、生涯にわたって学び続ける力を育成する。

商業科... 2年間で培った知識や技能を基にして3年次の『課題研究』に取り組むことで、より実践的な学びにつなげ、専門性を高め、社会的・職業的自立のために必要な能力を育成する。

海外交流

グローバル化が進展する中、これまで両校で行っていた取組を更に進め、時代の変化に対応した、地域社会を支えるグローバル人材を育成する。

そのために、再編前の白石高等学校の「国際フロンティア基金」や、再編前の杵島商業高等学校がこれまで行っていた韓国との国際交流事業を新高校でも継続し、希望者を中心とした短期海外研修の実施や、海外の高校とWEB上で相互通信による交流を行うことで、国際感覚を身に付けた人材の育成につなげる。

学科間連携

それぞれの学科の特色や強みを活かし、授業等において相互補完的に連携を図る。

特に進路指導においては、両校がこれまで蓄積したノウハウを共有し、よりの確な進路指導を行う。例えば、普通科における就職対策や商業科における進学対策など、互いの情報を交換しながら指導法を工夫することで、より高いレベルの進路保障につなげる。

普通科

英語教育

- ・ 少人数による指導を実施し、生徒の意欲を引き出す、一人ひとりに行き届いた質の高い授業を行う。
- ・ 英語による発信能力の向上を目指し、プレゼンテーションやディスカッション等に力を入れる。
- ・ 体験型の英会話プログラム等に参加し、コミュニケーション能力の向上を目指す。

特進コースと総合進学コース

- ・ 多様な生徒の進路希望に対応するために特進コースと総合進学コースを設定する。

コースと卒後の進路 例

特進コース（文系） 国公立大学（文系学部）

特進コース（理系） 4年制大学（理学部・工学部）

総合進学コース（文系） 私立大学、短期大学、専門学校（文系）

総合進学コース（理系） 4年制大学（農学部・看護系）、専門学校

商業科

インターネットショッピングモール「がばいよか！きしま^{まびや}美舎」

再編前の杵島商業高等学校では、実践的な活動の場を通して、ビジネスの実践力を育成することを目的に、地元企業と連携して、平成 22 年 11 月にインターネットショッピングモールをオープンした。

社長や管理職はもちろん生徒であり、役割分担を設け、本格的な経営への取組を行っており、地域の地場産品をはじめ、数多くの商品を取り扱っている。生徒たちは数名で出店企業 1 店舗を担当し、企業訪問での取材や打合せをもとに Web ページの作成・更新や、地域イベントへの積極的な参加等、商品の販売とモールの広報活動を行っている。また、出店企業と協力して、新商品開発にも取り組んでいる。

（新）白石高等学校においても、この活動を積極的に推進し、卒業後、社会において即戦力となる生徒の育成につなげていく。

第二外国語（韓国語）

営業職や販売職を目指す商業科マーケティングコースでは、インバウンド消費、特に韓国からの来県者に対応するため、第二外国語として韓国語の学習を行う。簡単な対応ができる程度の会話力を身につけると同時に、多言語を学習することにより海外の文化や考え方を理解し、視野を広げることにつながる。

6 校時

校時設定の基本的な考え方

- ・ 前記の教育課程を実施するに当たり、普通科は1日7時間授業、商業科は1日6時間授業とする。
- ・ 校舎制であるため、始業時間及び校時表は、公共交通機関の運行状況も考慮して、両校舎とも再編前の各高等学校のままとする。

【校時表】

普通科キャンパス 50分校時

職員朝礼	8:05	～	8:15
S H R	8:15	～	8:25
1 限 目	8:30	～	9:20
2 限 目	9:30	～	10:20
3 限 目	10:30	～	11:20
4 限 目	11:30	～	12:20
昼 休 み	12:20	～	13:05
5 限 目	13:05	～	13:55
6 限 目	14:05	～	14:55
掃 除	14:55	～	15:10
7 限 目	15:15	～	16:05
終 礼	16:05	～	16:10

商業科キャンパス 50分校時

職員朝礼	8:30	～	8:35
読 書	8:40	～	8:50
S H R	8:50	～	9:00
1 限 目	9:05	～	9:55
2 限 目	10:05	～	10:55
3 限 目	11:05	～	11:55
4 限 目	12:05	～	12:55
昼 休 み	12:55	～	13:40
5 限 目	13:40	～	14:30
6 限 目	14:40	～	15:30
掃 除	15:30	～	15:45
終 礼	15:45	～	15:50

普通科キャンパス 45分校時

職員朝礼	8:05	～	8:15
S H R	8:15	～	8:25
1 限 目	8:30	～	9:15
2 限 目	9:25	～	10:10
3 限 目	10:20	～	11:05
4 限 目	11:15	～	12:00
昼 休 み	12:00	～	12:45
5 限 目	12:45	～	13:30
6 限 目	13:40	～	14:25
掃 除	14:25	～	14:40
7 限 目	14:45	～	15:30
終 礼	15:30	～	15:35

商業科キャンパス 45分校時

職員朝礼	8:30	～	8:35
読 書	8:40	～	8:50
S H R	8:50	～	9:00
1 限 目	9:05	～	9:50
2 限 目	10:00	～	10:45
3 限 目	10:55	～	11:40
4 限 目	11:50	～	12:35
昼 休 み	12:35	～	13:20
5 限 目	13:20	～	14:05
6 限 目	14:15	～	15:00
掃 除	15:00	～	15:15
終 礼	15:15	～	15:20

【参考資料】

J R ・ バスの時刻表 （平成 28 年 10 月 20 日現在）

J R 長崎本線 肥前山口駅

	朝（着）			夕（発）		
上り	07：01	08：02	08：29	16：30	16：50	17：30
下り	07：16	08：07	08：37	16：45	17：46	18：29

J R 佐世保線 肥前山口駅

	朝（着）			夕（発）		
下り				16：44	17：59	19：01

J R 長崎本線 肥前白石駅

	朝（着）			夕（発）		
上り	07：57	08：23		16：32	17：51	18：55
下り	07：30	08：19		16：50	17：51	18：34

J R 佐世保線 大町駅

	朝（着）			夕（発）		
上り	06：57	07：36	08：34			
下り				16：49	18：04	19：07

周辺地図

【全体】



【普通科キャンパス】



【商業科キャンパス】



7 校舎制

(1) 校舎間移動

校舎間距離：約 5 km

生徒の移動

- ・ 授業については、生徒の校舎間移動は原則行わず、授業担当教員が移動する。
- ・ 学校行事や部活動で、移動の必要性が生じた場合は、バス等の手配も検討する。

(2) 部活動

- ・ 再編前の両高等学校で実施している部活動は原則維持する。ただし、部員数が著しく少ない部活動については、廃止を検討する。
- ・ 活動場所については、各部の活動状況や利便性を考慮し、継続して検討する。
- ・ 活動場所への移動手段については、継続して検討する。

【設置部活動（案）】

部活動	
体育部	文化部
野球（男）	新聞
陸上競技（男女）	文芸・図書
バスケットボール（男女）	美術
バレーボール（男女）	書道
テニス（男女）	音楽
ソフトテニス（男女）	ブラスバンド
卓球（男女）	放送
サッカー（男）	科学
ボクシング（男女）	英会話
柔道（男女）	J R C
剣道（男女）	茶道
弓道（男女）	家政
	ビジネススキル
	情報処理

【活動場所】

平成 30～32 年度においては、施設・設備、部活動の所属者数、顧問の配置等を総合的に勘案して、各部活動の活動場所を「各キャンパス」、「普通科キャンパス」、「商業科キャンパス」のいずれかに設定する。

(3) 学校行事

- ・ 新高校の生徒が入学する平成 30 年度から、段階的に両校合同で実施できる行事を増やしていく。
- ・ 校舎制のメリットを生かして、校舎単独実施が望ましい行事については各校舎で行う。
- ・ 移動が必要な合同行事の実施に際しては、バスの手配等も検討する。

【合同で実施する主な学校行事（案）】

学校としての一体感を醸成するために、以下の合同行事を設定する。

入学式
卒業式
クラスマッチ
高校総体壮行式
P T A 総会
文化祭
体育祭
芸術鑑賞会
始・終業式

再編前の両高等学校の既存の行事を基本とし、各校舎で行う行事と合同で行う行事について、今後シミュレーションを行いながら検討する。

資料1 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日

佐賀県教育委員会教育長決定

一部改正 平成17年4月 1日

一部改正 平成18年7月12日

一部改正 平成21年4月 1日

一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- (1) 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること。
- (2) 新高校の施設・設備に関すること。
- (3) 新高校への円滑な移行に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、検討を要すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補則)

第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

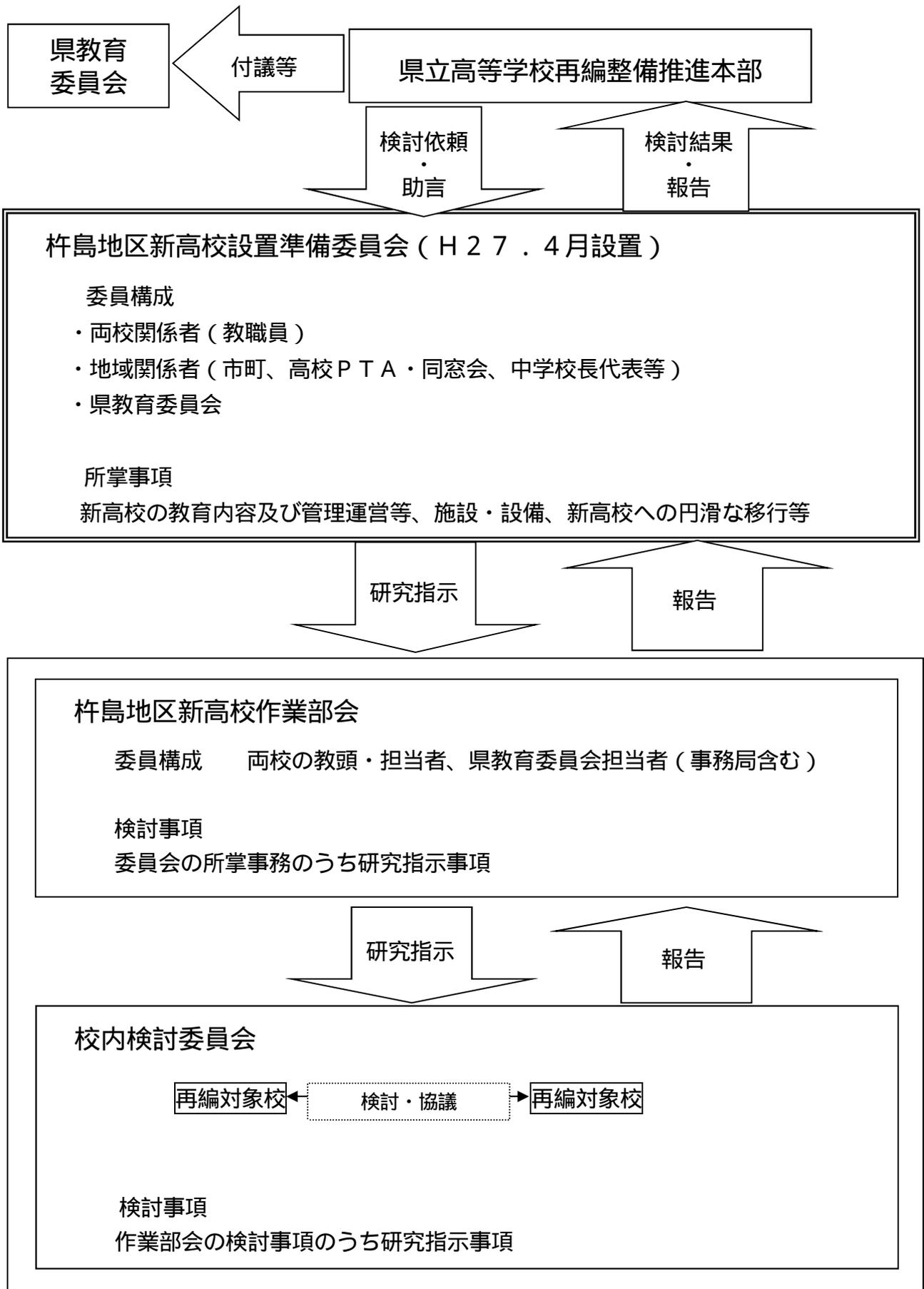
附 則

この要領は、平成14年10月21日から施行する。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料2 杵島地区新高校設置に向けた検討体制



資料3 杵島地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	白石高等学校学校校長	徳廣 正毅	委員長・学校関係者	
2	杵島商業高等学校校長	大塚 政文	副委員長・学校関係者	
3	白石高等学校教頭	上赤 真澄	学校関係者	
4	杵島商業高等学校教頭	深町 俊善		
5	大町町教育長	船木 幸博	大町町	市町関係者
6	大町町生活環境課長	小木 誠		
7	白石町教育長	北村 喜久次	白石町	
8	白石町副町長	百武 和義		
9	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市	
10	江北町教育長	赤坂 章	江北町	
11	白石高等学校 同窓会代表	川崎 光春	地元関係者	
12	杵島商業高等学校 同窓会代表	黒岩 勝弘		
13	白石高等学校 PTA代表	溝口 哲也		
14	杵島商業高等学校 PTA代表	田中 浩吉		
15	白石町立白石中学校長	平川 年明	中学校関係者	
16	武雄市立川登中学校長	植松 和彦		
17	教育総務課長	熊崎 康春	県教委関係者	
18	教育振興課長	五反田 進		
19	教職員課長	福地 昌平		
20	学校教育課長	松尾 敏実		
21	教育情報化支援室長	碓 浩一		
22	保健体育課長	吉松 幸宏		
23	県立高校再編整備推進室長	原 和弘		
24	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	白石高等学校教諭	本村 邦彦		
		副島 博孝		
	杵島商業高等学校教諭	松浦 昌彦		
		中村 桂子		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司		
県立高校再編整備推進室 企画主査	椛島 秀樹			

